

基本構想案住民説明会における意見への対応（案）

番号	意見	対応（案）
1	第1次総合計画と相対的に変わらない。10年前から全ての項目が悪化しつつあるのが現状だ。その反省に立って、より課題や問題に鋭い分析が必要。	基本構想案 8 ページ「まちづくりの課題」の記述を修正
2	単純な歳入だけでなく、例えば寄付を募るとか、ふるさと納税をしていくとか、歳入増の取組を基本構想の中でも示す必要があるのではないかと	基本構想案 9 ページ「地方分権に対応した地域経営の基盤づくり」の記述を修正
3	協働という精神を高くしないと市民の理解を得られない。もう少し協働や市民参画というものを盛り込んでいく必要があるのではないかと。	基本構想案 9 ページ「市民参画による協働のまちづくり」の記述を修正
4	他から観光などで来てもらう施策となっているが、遊びに来てもらうのではなく、住んでもらう、移住してもらうという視点が必要ではないかと。基本構想に「住む人を増やすのだ」という表現をもう少し入れておかないといけない。	基本構想案 11 ページの記述を修正
5	「恵み多き島」という抽象的な言葉ではなく、市の最大の課題である人口減に歯止めをかけるという目標を設定してほしい。	基本構想案 11 ページの記述を修正
6	この島で起きていることは、痛みを伴うようなことばかりだ。満足度など気にしないで、本当にこれだけはしないといけないことを考え、成果を出すことが市民の信頼にこたえる唯一の道だ。	本当にこれだけはしないといけないことを考えるために、「満足度・重要度」を設定しているものであり、次期計画の取組の中で答えていく。
7	「恵み多き島」は市民感覚からかけ離れたものだ。市民の感覚は「江田島市でどう粘るか」である。そういうものが十分に反映されていない。	「恵み多き島」も現在ある地域資源やつながりを生かして市の活性化を目指すものであり、「江田島市でどう粘るか」と方向性は同一である。次期計画の取組の中で答えていく。
8	観光関係では術科学校はアピールするものが沢山あるので、うまく利用し観光の幅を広げることが大事だ。	基本計画・実施計画(事務事業)において検討
9	先日、サイクリングに来た人がパンクした。修理場所もなく、案内もないので困っていた。帰りの船便も時間待ちとなった。そういう細かいところも書いてほしい。	
10	計画というものは、場合によって難しい問題、痛みを伴うような問題を含めて（市民が）協力していく形を作るのが目標設定の姿ではないかと。	

番号	意見	対応(案)
11	農水産業に対してさらに維持強化発展できるようにがんばると書いているが、江田島市もあきらめているのが実態。具体的な施策がなければそう思わざるを得ない。	基本計画・実施計画(事務事業)において検討
12	企業誘致という大きなものではなく、中国化薬やバブ日立等いろいろな企業と話をして島の活性化をお願いしたり、市の幹部以下が地道に行うことでしか島の雇用は増やせない。	
13	協働という言葉があるが、今の自治会や女性会などは存在するのかどうか分からない実態である。自治会の実態がどうなのかということを考えて強化していくことを考えなければいけない。	
14	教育問題でいうなら大柿高校が残れるかどうかの瀬戸際だ。方針として中高一貫校を出すようなことをしないと残らない。	
15	人口軽減策としてベッドタウン化政策をする余地はないか。それには交通網を充実していく必要がある。	
16	まちづくりは済んでいる私たちも自治会として盛り上げていき、何とか力を出していかなければならないと思う。	